

9 消 防 費

区 分	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額
	円	円	円
項 1 消 防 費	623,680,500	610,075,742	13,604,758
目 1 常 備 消 防 費	429,912,000	421,841,566	8,070,434

市民の生命、財産を災害から保護するとともに、水害、火災及び地震等の災害を防止し、これらの被害を最小限に食い止めるため、教養訓練、実地訓練及び警防活動を行った。

ア 消防学校入校

専科教育警防科	1 人
専科教育危険物科	1 人
専科教育特殊災害科	1 人
専科教育火災調査科	1 人
専科教育予防査察科	1 人
専科教育救助科	3 人
専科教育救急科	3 人
特別教育災害現場指揮科	1 人
総合教育幹部科	1 人
上級幹部科	1 人

イ 年間計画訓練

週 2 回の各種訓練を実施し、災害に備えた。

ウ 救急救命士研修参加

救急救命研修所救急救命士養成課程	1 人
------------------	-----

エ 火災発生予防

延焼起因の排除と消防用設備等の設置及び保守管理の徹底のため、消防職員による防火対象物の立入検査を実施した。

また、一般住宅に対して、住宅用火災警報器の設置指導を行い、火災予防の一層の強化を図った。

オ 応急手当、防火の指導

救命率の向上を図るため、市民を対象とした救急救命講習会や、ジュニア救命講習等の救命入門コースを実施し、1, 122 人に修了証等を交付した。

また、各種団体（消防団、自治会、学校、事業所、PTA 等）に、防火指導及び応急手当の講師として消防職員を派遣した。

カ 災害対応

火災、救急、救助に出動し、敏速な行動のもとに被害を最小限に食い止めた。

火災件数 5件

救急件数 1,645件（うち舞鶴若狭自動車道関係10件）

救助件数 30件（うち京都縦貫自動車道関係2件）

水防出動等件数 250件

ドクターヘリ要請件数 131件

キ 少年少女消防クラブ

少年期から防火や消防に対する理解を深め、防火意識の高揚を図るため、少年少女消防クラブによる火災予防活動等を行った。

ク 救助資機材の整備

訓練や実火災、救助活動に対応するための資機材の整備を行った。

事業概要	事業費	財 源 内 訳			
		国府支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
移動式高圧コンプレッサーユニット一式	円 4,946,400	円	円	円	円 4,946,400
潜水用ポンベ 3本	219,672				219,672
計	5,166,072				5,166,072

ケ 綾部市防火防災協会補助金

防火防災力の向上のため、本年12月に設立された綾部市防火防災協会に対して補助を行った。

補助金額 300,000円

区 分	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額
	円	円	円
目2 非常備消防費	89,110,000	86,643,840	2,466,160

火災予防、消火活動及び風水害等に対し、消防職員と一体となって被害を最小限に食い止めた。

また、平成29年の建物火災については、消防団と自治会等が火災予防に取り組み、昭和25年の市制施行以降初めて0件となった。

さらに、消防団員の安全を確保するため、老朽化したヘルメットを更新したほか、消防団活動支援事業により、デジタル簡易無線機12台を配備した。

このほか、奥上林分団、中上林分団統合に向けて、消防団活動に必要な備品や設備の整備を行った。

事業概要	事業費	財源内訳			
		国府支出金	地方債	その他	一般財源
八津合町消防ポンプ 格納庫（詰所付） 新設工事 木造2階建 A=99.4 m ² 既存建物解体 鉄骨造平屋建 A=36.0 m ² ホースポール新設 1基 アスファルト舗装 A=340.0 m ²	円 20,530,174	円	円 18,800,000	円	円 1,730,174
八津合町照明器具設 置工事 LED丸型投光機 6基	1,263,600	631,500			632,100
分団旗・部旗一式 上林分団名札一式	921,024	460,500			460,524
計	22,714,798	1,092,000	18,800,000		2,822,798

区 分	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額
	円	円	円
目 3 消 防 施 設 費	86,638,000	84,939,884	1,698,116

(1) 消防車両整備事業費

事 業 概 要	事 業 費	財 源 内 訳			
		国府支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
消防ポンプ自動車 (八津合町、物部町) 各 1 台	円 30,227,218	円 5,500,000	円	円	円
小型動力ポンプ積載 車 (十倉中町、高津 町) 普通車 各 1 台	11,263,575		48,400,000		670,836
小型動力ポンプ付積 載車 (井倉町) 普通 車 1 台	7,003,452				
小型動力ポンプ付積 載車 (小西町) 軽自 動車 1 台	4,697,344				
小型動力ポンプ (篠田町) 1 台	1,379,247				
計	54,570,836	5,500,000	48,400,000		670,836

(2) 防災基盤整備事業費

事 業 概 要	事 業 費	財 源 内 訳			
		国府支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
防火水槽 (物部町) 有蓋 40 m ³ 級 1 基	円 6,432,926	円	円	円	円
防火水槽 (和木町) 測量等一式	667,440		6,800,000		300,366
計	7,100,366		6,800,000		300,366

(3) 上林出張所整備事業費

本年10月に綾部市消防署上林出張所を設置し、上林地区において24時間体制で火災・救急等の業務を開始した。

また、上林出張所の開設に備え、施設の改修を行った。

事業概要	事業費	財 源 内 訳			
		国府支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
上林出張所整備工事 建築本体工事 仮眠室床・事務所 床・トイレ改修 A=58.5 m ² 間仕切り設置一式 空調設備設置 3台 電気設備工事一式 高機能消防指令セン ター設備及び消防救 急デジタル無線移設 一式	円 4,305,960	円 4,305,960	円	円	円
建物取得 鉄骨造瓦葺2階建 本体 A=136.6 m ² 付属車庫 A=28.8 m ²	8,673,000	4,336,000		4,337,000	
シャワーユニット設 置工事 1基	297,000				297,000
計	13,275,960	8,641,960		4,337,000	297,000

区 分	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額
	円	円	円
目 4 水 防 費	4,752,500	4,002,522	749,978

消防職員、団員の水防訓練実施と資材の備蓄に努めるとともに、緊急災害時に出動し、被害を最小限に食い止めた。

区 分	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額
	円	円	円
目 5 災 害 対 策 費	13,268,000	12,647,930	620,070

(1) 災害対策費

防災関係機関等と合同で危険箇所の防災パトロールを実施するとともに、防災会議を開催した。

また、市役所と各公民館、エフエムあやべとのネットワーク通信に係る全国瞬時警報システム及び防災行政デジタル無線の維持管理を行った。

さらに、自主防災組織の結成及び活動に対して補助を行った。

件数 11件 補助金額 407,000円

(2) 原子力防災対策費

原子力災害の緊急事態応急対策に備え、原子力防災対策車両及び放射線防護施設の維持管理等を行った。

また、本年度新たに、京都府と福祉車両について無償貸借契約を締結し、本市に避難車両を配備することで原子力災害時における備えを行った。

台数 1台（マイクロバス）

(3) 災害時応急対策整備事業費

京都府戦略的地震防災対策推進プランに示された備蓄品目のうちアルファ化米、保存水を計画的に備蓄した。

アルファ化米 1,000食

保存水（20） 2,058本

また、平成28年8月に国土交通省から由良川の想定最大規模降雨時における浸水想定区域図が公表されたことに伴い、ハザードマップを作成し、浸水が想定される自治会に配布した。